

令和5年度 事業報告

(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

I 公益目的事業の実施

1 教職員に関する研修等の実施

(1) 教員等研修会の開催

年間研修テーマ 新しい時代を伸びやかに生きる

～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

ア 新任教員研修会（新任教員対象）

- 第1回 5年 4月 4日：ホテル福島グリーンパレス
- 第2回 5年 6月 3日：ホテル福島グリーンパレス
- 第3回 5年 7月24日・25日：ウェディング・パーティエンポリウム
- 第4回 5年 8月 2日・ 3日：ホテル福島グリーンパレス
- 第5回 5年 9月 2日：ホテル福島グリーンパレス
- 第6回 5年12月25日・26日：ホテル福島グリーンパレス

イ 中堅教員研修会（3年から7年目教員対象）

- 第1回兼キャリアアップ研修 5年 4月 5日：オンライン
- 第2回兼キャリアアップ研修 5年 7月24日：ホテル福島グリーンパレス
- 第3回兼キャリアアップ研修 5年 8月16日：ホテル福島グリーンパレス
- 第4回兼キャリアアップ研修 5年12月25日：ホテル福島グリーンパレス

ウ 主任教員研修会（8年目以上教員対象）

- 第1回 5年 4月 6日：オンライン
- 第2回兼キャリアアップ研修 5年 8月16日：ホテル福島グリーンパレス
- 第3回兼キャリアアップ研修 5年12月26日：ホテル福島グリーンパレス

エ 特別テーマ研修

- 第1回 5年 5月12日：オンライン
- 第2回 5年 8月23日：オンライン

オ キャリアアップ研修【兼主任・中堅】

- 5年 6月20日：オンライン
- 5年 6月24日：福島テルサ
- 5年 8月 2日：ホテル福島グリーンパレス
- 5年 9月 6日：オンライン
- 5年 9月13日：オンライン
- 5年11月22日：オンライン

カ 教員研修大会

- 5年10月20日～21日 第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会（福島大会）／
第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（県中大会）：郡山市

2 私立幼稚園・認定こども園の教育振興に資する調査研究事業の実施

(1) 経営実態の調査分析

幼稚園・保育所・認定こども園に関する各市町村の実態調査（令和6年1月）

(2) 福島県私立幼稚園・認定こども園白書の発行（令和6年3月）

発行部数 400部（県内各市町村、県内私立幼稚園等、関係団体等に配付）
白書概要 連合会の活動状況、各市町村の振興対策事例と現状、
福島県私立幼稚園等の財務状況など

3 私立幼稚園等教育振興事業助成事業の実施

- (1) 教育振興事業助成（教職員人件費、教育研究経費、管理経費、預かり保育、子育て支援活動等
についての助成）※令和4年度から子育て支援推進事業等と一本化された。

助成先：非学校法人立幼稚園1園

助成額：3,807千円

4 私立幼稚園等復興対策支援等事業の実施

(1) 復興対策支援（園児の教育環境確保等に向けた支援の実施）

①大型絵本寄贈事業：休止

②復興支援啓発事業：休止

③こども体験活動支援事業（園外活動等の実施に対する経費についての支援）：休止

(2) 災害対策基金事業（災害発生時の支援を目的に義援金等を財源に災害対策基金を設置）

令和5年度 災害対策基金積立額（61千円）

令和5年7月豪雨災害お見舞金：県外（300千円）、令和5年8月豪雨災害お見舞金：

県内（1,230千円）令和5年8月鼎談「幼児教育座談会」（200千円）を支出

5 各委員会の開催状況

(1) 総務広報委員会

ア 組織

委員長 齋藤 悟

担当正副理事長 細谷 實

委員 ○新妻英昭・辻 正弥・宮澤公大・掛田昌克・渡部利智子・

吉田 元・吉田 富・中澤翔平

（○は副委員長 以下同じ）

イ 委員会の開催

【第1回】令和5年12月21日（郡山市・郡山ビューホテルアネックス）

(1) 副委員長の選出について

(2) 令和5年度事業計画の確認について

(3) その他

ウ 主な事業

(1) 就職セミナー

5年 9月 6日 郡山女子大学短期大学部 140名参加（対面）

5年10月12日 いわき短期大学 75名参加（対面）

5年11月12日 桜の聖母短期大学 40名参加（対面）

5年11月15日 福島大学 18名参加（対面）

5年12月15日 福島学院大学短期大学部 68名参加（対面）

6年 1月16日 福島学院大学 45名参加（対面）

(2) 6年 1月 アンケートの実施

(3) 6年 3月 私立幼稚園・認定こども園白書 発行

エ 事業内容及び評価

就職セミナーについては、養成校のある方部の委員が中心となり、その地域の現状を伝え、多くの学生の参加を促しています。幼稚園教諭・保育教諭を目指す学生が少なくなっていることから保育士との違いを明確した説明が必要になってきます。

福私幼連だよりも私立幼稚園・認定こども園白書も加盟園が減少傾向にあること、また役員の方への負担が大きくなっていることから、「やらねばならない」とノルマになる仕事ではなく、会員全員が小さな援助でよりよい結果が得られるような活動にギアを換えていきます。

アンケート調査の実施は、連合会の目指すものを明確にできたと思います。園長・理事長・教員・保護者の考えをしっかりと調査し、視覚化することで、現状の問題を会全体で理解

することができ、また県や市町村・保護者に対しても周知できるものです。今後も頻繁に Google フォーム (AI) 等を利用し実施できればと思います。

(2) 振興政策委員会

ア 組織

委員長 星 行夫
担当正副理事長 志賀達生
委員 ○塩谷 元・佐々木篤行・阿部光浩・山口 仁・杉原 完・
上嶋啓子・中野育正・白土智貴・小名川祐輝・荒 崇志

イ 委員会の開催

【第1回】令和5年 8月18日 (こども園委員会と合同開催：郡山市・郡山中央公民館)

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和5年度事業計画の確認について
- (3) 経営上の課題についての調査について
- (4) 令和6年度県予算編成について (振興政策委員会)
- (5) 保育士等キャリアアップ研修実施について (こども園委員会)
- (6) こども園関連予算及び関連事業について (こども園委員会)
- (7) 令和5年度事業計画の確認について

【第2回】令和5年12月20日 (オンライン)

- (1) 経営上の課題についてのアンケート結果について
- (2) 各市町村の実態調査について
- (3) その他

ウ 主な事業

- (1) 5年 6月12日：自民党福島県連との懇談会資料作成
- (2) 5年 9月 4日：福島県議会各種団体要望聴取会 要望内容作成
- (3) 5年11月22日：福島県私学振興大会要望事項の作成
- (4) 5年12月 1日：令和6年度政府予算対策要望活動 要望内容作成
- (5) 6年 1月 : 幼稚園等に関する市町村実態調査の実施

エ 事業内容及び評価

今年度第1回委員会で、事業案として「経営上の課題についての調査」を私学助成園 (Aグループ) と施設給付型園 (Bグループ) に分けてアンケートすることが承認されました。そのため、各所属園にアンケート調査を実施しました。A、Bグループともに回収率が45%程度とやや低い結果となりましたが、その調査結果にはAとBグループの経営の課題が浮き彫りとなりました。上位3つはA、Bグループともに園児減少、収支改善したい、教員採用が困難ということでありましたが、4、5位についていえばAグループは補助金増額や保育料のアップ等の要望であり、収支改善を図るための項目が多く、一方Bグループは人材育成、処遇改善や事務仕事の煩雑さを上げており、どちらかと言えば実務上の課題が多くなっています。私学助成園は園児減少による収入減のため、収支が悪化しているところが多く、収入減をカバーするためには補助金の増額や保育料の改定を行う必要があると推定されます。施設型給付園においては、2号、3号定員を設定したことにより、園児数の低下の影響は抑えられましたが、定員増としたために職員の採用が大変となっていると推定されます。次年度は園児減少、教員採用及び収支改善 (補助金増額含む) に焦点を絞り、委員会としての活動を図りたいと思います。

(3) 教育研究・研修委員会

ア 組織

- 委員長 賀門康博
担当正副理事長 楠 正興
委員 関 章 信・○舟山千賀子・○佐藤智彦・坂本万純・川名秀典・
村松恵美・大庭一晃・富永実雪・金澤右子・阿部直美・
長谷川翔平・坪 有加・酒井啓亮・鎌田文代

イ 委員会の開催

【第1回】令和5年 6月16日（福島市）

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和5年度事業計画及び担当割りについて
- (3) 令和5年度教員研修会について（7月・8月）
- (4) その他

【第2回】令和5年11月 2日（福島市・ホテル福島グリーンパレス）

- (1) 令和5年度11月12月の研修会について
- (2) 令和6・7年度研究課題、俯瞰図の改定について
- (3) 次年度の研修の方向性について
- (4) 第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会(福島大会)/第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(県中大会)に参加しての振り返りと第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(会津大会)について
- (5) その他

【第3回】令和6年 1月19日（福島市・福島テルサ）

- (1) 令和6・7年度研究課題について
- (2) 令和5年度の研修の振り返りと令和6年度の研修計画について
- (3) 第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（いわき大会）について
- (4) 全日私幼連・全日私幼幼児教育研究機構 担当者会議の内容について（報告）
- (5) その他

ウ 主な事業

- (1) 各種研修会の実施（参照：※令和5年度教員等研修会実施内容）
- (2) 海外研修の実施
5年 11月 4日～11日 第1回海外研修（イタリア）
6年 1月 21日～26日 第2回海外研修（ベトナム）
- (3) 5年 8月 25日 全日私幼連東北地区教育研究担当者連絡会議協議会（秋田）
- (4) 6年 1月 26日 全国教育研究担当者会議（東京）
- (5) 6年 2月 16日 第2回東北地区会（秋田）
- (6) 6年 2月 19日 福島県幼稚園等新規採用教員研修運営協議会（福島市）

エ 事業内容及び評価

(1) 研修運営全般について

新型コロナウイルスの類型の変更を踏まえ、研修計画としても立案段階から対面形式での研修を増やしました。受講側も講師側も研修の質としては対面形式が理想ではありますが、昨今の就労の時間的制約の中でリモート(オンライン)形式研修も利便性との兼ね合いの中で意義があるものと考えられます。それぞれのメリットを活かしつつ、次年度の計画を立てていきます。昨年に続き処遇改善Ⅱに係る研修(キャリアアップ研修)において、1年間で各分野15時間をクリアできる様に対応するための回数を確保しましたが、委員数の実質的な減もあり各委員の業務が増しております。今後、研修数も含め検討していく必要があると考えます。

夏休み期間に行っていた新任宿泊研修会は研修会場と経費の増大という問題もあり今年も

行わず、その宿泊研修3日分を6月と7月に振り分け、新任者研修の45時間を確保することができました。

コロナ禍で行う事が叶わなかった海外研修についても、今年度はイタリアとベトナムの2ヶ所で行う事ができました。

(2) 教員研修大会(兼東北地区教員研修大会)について

今回の県大会は東北地区教員研修大会を兼ねての実施となりました。新型コロナの類型変更と研修の内容と質を考え、全日程を対面方式で行い、分科会としても9つの公開保育・分科会、1つの経営分野研修、そして本連合会としては新たな試みであるポスター発表の分科会1つの合計11分科会を行う事が出来ました。結果として850名を超える参加があり、非常に有意義な学びの機会にすることが出来たと考えます。実施に関しては公開保育を行う意義を理解していただき、運営に係る様々な困難を解決しながら実施に漕ぎ着けた実行委員および教職員の方々のご尽力に感謝いたします。

実際に保育を見て語ることの重要性を感じることが出来た大会になったと考えます。

(3) その他

① 全日本私立幼稚園幼児教育研究機構から令和6年度・7年度の研究課題が示され、「一人ひとりの「こどもがまんなか」をまもる質の高い幼児教育を～社会全体でつむぎ未来へつなぐために～」が大テーマとなった。同時に「研修俯瞰図」も改訂され、昨今の状況付を踏まえた内容の修正と処遇改善Ⅱに係る形で園務に関わる様々な職種に対応できる形の俯瞰図となりました。また、自己研鑽としての研修の道筋である「保育者として身に付けたい資質・能力の道しるべ」が示されました。教職員としての継続的なキャリアアップの在り方を、これらの指標と共に考えていく必要があると考えます。

② 旧幼稚園ナビが「ゆたかなまナビ」として本連合会の研修にも深く関わるようになります。保育に求められるものが明確に量から質に転換する中で、これからは研修の記録が重要になってきます。運用面については機構とも連携を取りながらより良いシステムになるように願っております。

③ 研修については各方部の研修との連携も視野に入れ、より効率的かつ質を持続できる在り方を模索していきたいと思えます。

(4) 経営研究委員会

ア 組織

委員長 安斉悦子

担当正副理事長 楠 正興

委員 ○遠藤弘道・板垣 恵・今泉壮規・山野辺澄子・橋本希義・
船生長久・永井一也

イ 委員会の開催

【第1回】令和5年 9月 7日(福島市・ホテル福島グリーンパレス)

(1) 副委員長の選出について

(2) 令和5年度事業計画及び担当割りについて

(3) 令和5年度福島県私立幼稚園・認定こども園白書について

(4) その他

ウ 主な事業

(1) 5年 6月28日 学校運営管理研修会(オンライン)

(2) 5年10月20日 第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会(福島大会) / 第11回
福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(県中大会) 第10分科会担当

エ 事業内容及び評価

令和5年度始めの事業はオンラインにて、学校運営管理研修会を開催いたしました。昨年も早い時期に「私学助成について」福島県総務部私学・法人課からお話を伺いましたが、今年度も早めに情報を得ることにより、申請・報告等の事務処理がスムーズにすすめられることをねらいとしました。今年度の主な内容は、1、私学助成関係事務について（1）心身障がい児教育費補助（2）令和5年度福島県私立学校こどもの安心・安全対策支援事業補助金について 2、私立学校法の改正概要について 3、私立学校運営状況調査等についての3項目でした。心身障がい児関係の補助は保護者との関係において申請が難しいケースがあり、準備された助成が受けられない場合の改善策が課題であるように思います。私学法の改正はすべての学校法人に於いて令和7年3月31日までに寄附行為の変更が必要であることの説明を受けました。詳細については令和6年2月28日に再度、オンラインにて私学・法人課からの説明がありましたので、各園におかれましては準備を進められていることと思います。また、私立学校運営状況調査等については、調査の結果等から各園においても注意して欲しいことの説明がありました。

今年度は第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会（福島大会）が第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会（県中大会）を兼ねて開催され、経営研究委員会として第10分科会を企画いたしました。分科会は3部構成で、第1部は「こどもまんなか社会へ」～保育制度の見なおし等につて～講師に文部科学省大臣官房審議官（初等中等教育局担当）安彦広斉氏、第2部は「養成校から見た学生・新任教員支援（指導）」～保育者として育てるためのヒント～講師に郡山女子大学短期大学部幼児教育学科教授折笠国康先生、第3部は「子どもが育ち家族が幸せになる学園づくり」～今、必要とされる園づくりについて～講師にEソリースセンター株式会社代表取締役石田敦志氏、いずれも喫緊の課題を取り上げられました。第1部では、日本の人口問題と教育水準について話され、2056年には日本の人口は1億人を切ると想定されていることや日本の教育は得意分野では世界の上位を占めているが、社会貢献度等の自己肯定感の低さが問題であること。不登校やいじめ、暴力行為が増加していること。これからの学校教育の在り方、また、新しい取り組みである「子どもでも通園制度」について話されました。第2部では、経営者の在り方と現代の若者の意識・価値観の違い等について話され、従来の昭和的な指導等は時代に合わなくなっていることを踏まえ、マネジメントを考えていく必要があること等が話されました。第3部では、「子どもが育ち家族が幸せになる学園づくり」については職員全員が役割を理解し、同じ方針で進んでいくことの必要性と少子化、共働き世帯、就労時間の長時間化という社会の課題を踏まえ、需要に応じた園の体制作りや園が多様な分野を繋げて専門性の高いチームづくりをすることが子ども達の幸せな未来の創造の実現に必要であること等話されました。いずれも子どもを中心とした社会の新しい在り方等を研修することができたように思います。

3.11大震災以降、自然災害等発生後の対応等について、各園・各方部で検討されていることと思いますが、今年度は水害等を実際に体験された園の先生に経験等について白書に掲載をお願いいたしました。今後も起こりうる災害に備える参考にしていただくと共に、その対応の方法等を蓄積していくことが、継続可能な園経営のための法的な制度に繋がることを願っております。

経営研究委員会事業としては、喫緊の課題の研修を優先してきましたので、計画した事業が先送りになった事項もありましたが、こども園委員会、教育研究・研修委員会、振興政策委員会と連携を図りながら、新たな視点をあてた総合的な園経営の研究・研修を今後ともすすめて参ります。

(5) こども園委員会

ア 組織

委員長 海老原 嗣
担当正副理事長 平栗光弘
委員 ○諏訪信行・木村恵美子・和田正明・根本克行・安川 徹

イ 委員会の開催

【第1回】令和5年 8月18日（振興政策委員会と合同開催：郡山市・郡山中央公民館）

- (1) 副委員長の選出について
- (2) 令和5年度事業計画の確認について
- (3) 経営上の課題についての調査について
- (4) 令和6年度県予算編成について（振興政策委員会）
- (5) 保育士等キャリアアップ研修実施について（こども園委員会）
- (6) こども園関連予算及び関連事業について（こども園委員会）
- (7) 令和5年度事業計画の確認について

ウ 主な事業

5年 9月 キャリアアップ研修アンケート

エ 事業内容及び評価

本年は、キャリアアップ研修に関する検証及び認定こども園経営についての課題の確認について実施しました。

キャリアアップ研修に関しては、各園でも実施について必要性を感じている園も多く、職員研修の参加者増にも繋がっているというところから、今後も需要と負担のバランスを考え継続していき、課題については定期的な評価の機会を持ち進めていくことが好ましく感じました。

こども園経営に関しては、保育の2025問題等今後園児数が減少していく社会の中で、教育・保育の質の向上や独自性をどう見出し、長期的に運営できる園を目指していくか、福島県内園での情報共有や研修の機会が今後も必要だと考えられます。

II 労働保険事務組合事業

事業内容：労働保険事務組合として当法人加盟の園から委託を受け行っている労働保険事務
令和5年度受託園：1園

III 法人事業関係

1 総会の開催

定時社員総会

- 日 時 令和5年 6月12日 13:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 117名（委任状提出会員83名含む。）
議 題
- （1）令和4年度事業報告の承認について
 - （2）令和4年度決算の承認について（議案第1号）
監査報告
 - （3）令和5年度予算の補正について（議案第2号）
 - （4）理事25名選任の件について（議案第3号）
 - （5）監事3名選任の件について（議案第4号）

社員総会

- 日 時 令和6年 3月25日 13:30～
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席会員 112名（委任状提出会員99名含む。）
議 題
- （1）令和6年度事業計画（案）の承認について（議案第1号）
 - （2）令和6年度予算（案）、資金調達及び設備投資の見込みの承認について（議案第2号）

2 理事会の開催

第1回

- 日 時 令和5年 5月15日 13:30～
場 所 ホテルハマツ（郡山市）
出席理事 17名 出席監事 2名
〔決議事項〕
- （1）教育功労表彰受賞候補者（案）について（議案第1号）
 - （2）令和4年度事業報告の承認について（議案第2号）
 - （3）令和4年度決算の承認について（議案第3号）
監査報告
 - （4）令和5年度予算の補正について（議案第4号）
 - （5）理事選任候補者（案）の承認について（議案第5号）
 - （6）監事選任候補者（案）の承認について（議案第6号）
 - （7）定時社員総会招集及び提出議案等について（議案第7号）

第2回

- 日 時 令和5年 6月12日 定時社員総会終了後
場 所 ホテル福島グリーンパレス（福島市）
出席理事 21名 出席監事 2名

〔決議事項〕

- (1) 理事長、副理事長及び常任理事の選定について
- (2) 各委員会委員長及び委員の選定について

第3回

日 時 令和5年 8月21日 15:00～

場 所 郡山ビューホテルアネックス (郡山市)

出席理事 20名 出席監事 1名

〔報告事項〕

- (1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

- (1) 令和5年度永年勤続表彰(案)について(議案第1号)
- (2) 令和5年度福島県私立幼稚園・認定こども園教育研究奨励賞(案)について(議案第2号)
- (3) 第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会(福島大会)／第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(県中大会)の負担金について(議案第3号)
- (4) 若手後継者特別委員会の設置について(議案第4号)

第4回

日 時 令和5年12月21日 15:00～

場 所 郡山ビューホテルアネックス (郡山市)

出席理事 15名 出席監事 1名

〔決議事項〕

- (1) 令和6年度第12回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会及び今後のローテーションについて(議案第1号)
- (2) 第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会(福島大会)／第11回福島県私立幼稚園・認定こども園教員研修大会(県中大会)の決算見込みについて(議案第2号)
- (3) 副理事長退任に伴う役員人事について(議案第3号)
- (4) 一般財団法人福島県幼児教育振興財団との役割分担について(議案第4号)
- (5) 本連合会からの幼児教育の重要性についての発信について(議案第5号)
- (6) 本連合会の今後の福島県への要望活動並びに取り組みについて(議案第6号)
- (7) 加盟園の拡大について(議案第7号)

第5回

日 時 令和6年 3月 8日 13:30～

場 所 ホテル福島グリーンパレス (福島市)

出席理事 16名 出席監事 0名

議 題

〔報告事項〕

- (1) 職務執行状況の報告について

〔決議事項〕

- (1) 令和6年度事業計画(案)について(議案第1号)
- (2) 令和6年度予算(案)について(議案第2号)
- (3) 社員総会招集及び提出議案について(議案第3号)

※ 令和5年度 教員研修会等実施内容

年間研修テーマ 新しい時代を伸びやかに生きる
～社会に開かれた質の高い幼児教育を～

研修会名	開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名	
新任教員研修会	第1回	令和5年 4月 4日 ホテル福島グリーンパレス	72名	研修① 「“先生”のはじまり～社会人、保育者としての心構え等について～」【B4-I】 研修② 「子供の生活や遊びを豊かにする環境構成と援助」【E4-I】	郡山女子大学附属幼稚園 園長・(公社)福私幼連 教育研究・研修委員会 委員長 賀門康博 福島めばえ幼稚園 副園長 伊藤ちはる
	第2回	令和5年 6月 3日 ホテル福島グリーンパレス	68名	研修① 「保育における環境とは～自然や季節から考える～」【B5-I】 研修② 「子供の表現力を育てる～保育における音楽あそび～」【B3-I】	いわき短期大学附属幼稚園 副園長・(公社)福私幼連 教育研究・研修委員会 委員 酒井啓亮 元郡山女子大学短期大学 部 主任教授 三瓶令子
	第3回	令和5年 7月24日 ウェディング・パーティー エンポリウム	69名	研修① 「乳幼児期の発達理解について」【C2-I】 研修② 「保育実践～乳幼児期の絵画表現について考える～」【E2-I】	湘南ケアアンドエデュケーション研究所 所長 増田まゆみ 尚綱学院大学総合人間科学系芸術・スポーツ部門/ 心理・教育学群学校教育 学類 准教授 相馬 亮
		令和5年 7月25日 ウェディング・パーティー エンポリウム	69名	研修③ 「保育の振り返り～一学期の反省と二学期へ向けて～」【E7-I】 研修④ 「子ども理解～子どもの育ちや学びについて考える～」【B2-I】	原釜幼稚園 理事長 高橋 昇 認定こども園宮前幼稚園 ・宮前おひさまこども園 副園長/鎌倉女子大学・洗足こども短期大学 非常勤講師 亀ヶ谷元譲

研修会名	開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名	
新任教員研修会	第4回	令和5年 8月 2日 ホテル福島グリーンパレス	69名	研修① 「保育者としての危機管理～園に潜む危険とは～」 【A3-I】	郡山女子大学附属幼稚園 園長・(公社)福私幼連 教育研究・研修委員会 委員長 賀門康博
		令和5年 8月 3日 ホテル福島グリーンパレス		研修② 「乳幼児期の愛着形成について考える」 【A4-I】	東北福祉大学 総合福祉学部 福祉心理学科 講師 柴田理瑛
		令和5年 8月 3日 ホテル福島グリーンパレス		研修③④ 「保育実践～劇表現から保育者としてのコミュニケーション能力を学ぶ～」 【B1-I】 【E5-I】	長野県立大学 こども学科 教授 山本直樹
	第5回	令和5年 9月 2日 ホテル福島グリーンパレス	48名	研修① 「保護者対応について考える～保護者との信頼関係を築くためには～」 【B6-I】	新島学園短期大学 コミュニティこども学科 教授 鈴木まゆみ
				研修② 「子どもの育ちと記録について考える」 【D1-I】	学校法人池谷学園富士見幼稚園 主任 木暮真紀
	第6回	令和5年12月25日 ホテル福島グリーンパレス	56名	研修① 「言葉かけから見直す不適切な保育について」 【F3-I】	郡山女子大学短期大学部 幼児教育学科 講師 佐々木郁子
			研修② 「保育と家庭の結びつき」 【F2-I】	桜の聖母短期大学 教授 狩野奈緒子	
	令和5年12月26日 ホテル福島グリーンパレス	56名	研修③ 「保育者としてのマナーについて」 【F1-I】	桜の聖母短期大学 非常勤講師 今泉理絵	
			研修④ 「指導要録 幼児期の終わりまでに育って欲しい姿について」 【E6-I】	福島めばえ幼稚園 副園長 伊藤ちはる	

研修会名	開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名	
中堅教員研修会	第1回 兼 キャリアアップ 分野1	令和5年 4月 5日 オンライン	81名 うち キャリアアップ 78名	研修① 「幼児への適切な関わり～乳 児保育における配慮事項・ 保護者とのかかわり～」 【C2-II】 研修② 「私が？子供が？」～生かそ う子供の最善の利益～ 【A4-II】	福島学院大学 准教授 鈴木智子 鎌倉女子大学短期大学部 准教授 寶川雅子
	第2回 兼 キャリアアップ 分野1	令和5年 7月24日 ホテル福島グリー ンパレス	85名 うち キャリアアップ 80名	研修① 「あそびうたワークショップ 」～大人が笑えば子どもが 笑う～ 【E2-II】 研修② 「子どもの育ちを捉える保育 者の目」～多様な子どもの 姿を読み解く～【B2-II】	あきらちゃん&ジャンプ くん 湘南ケアアンドエデュケ ーション研究所 所長 増田まゆみ
	第3回 兼 キャリアアップ 分野3	令和5年 8月16日 ホテル福島グリー ンパレス	88名 うち キャリアアップ 85名	研修① 「集団生活だから見えてくる 子どもの姿」 【D3-II】 研修② 「気になる子への対応～子ど も理解と模索のしかた～」 【D3-III】	郡山女子大学短期大学部 幼児教育科 講師 山脇功次 臨床心理士・公認心理師 緑川美喜子
	第4回 兼 キャリアアップ 分野6	令和5年12月25日 ホテル福島グリー ンパレス	103名 うち キャリアアップ 100名	研修① 「郡山市におけるスタートカ リキュラムの取り組みにつ いて～小学校の実践例～」 【F1-I】 研修② 「“子どもを真ん中”にした 幼保小連携とは～“遊びは 学び”を考える視点の共有 ～」 【F1-II】	前 郡山市立行健小学校 校長 大槻 誠 新潟中央短期大学 幼児教育科 教授 久保田真規子

研修会名		開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
主任教員研修会	第1回	令和5年 4月 6日 オンライン	43名 うち キャリアアップ 42名	研修① 「新年度スタートにあたり主任の役割を考える」 【B4-Ⅲ】 研修② 「職場環境の重要性～働きやすい組織・風土づくり～」 【B6-Ⅱ】	幼少年教育研究所所員/ 元・富士見幼稚園主任 兵頭恵子 臨床心理士・公認心理師 湊 園美
	第2回 兼 キャリアアップ 分野1	令和5年 8月16日 ホテル福島グリーンパレス	46名 うち キャリアアップ 45名	研修① 「新生児、乳児期から幼児期の発達について」 【D1-Ⅰ】 研修② 「保護者、保育者の今の環境の現状を語り合い、探り合う」 【F2-Ⅱ】	臨床発達心理士 船山美奈子
	第3回 キャリアアップ 分野6	令和5年12月26日 ホテル福島グリーンパレス	82名 うち キャリアアップ 80名	研修① 「冬場の感染症から子どもたちを守るには？みなさんができること」 【A2-Ⅲ】 研修② 「対話を通して同僚と学びあう～園内研修をやってみよう～」 【D2-Ⅲ】	帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授 高橋謙造 武蔵野大学教育学部子ども発達科 教授 箕輪潤子
特別テーマ研修	第1回 兼 キャリアアップ 分野4	令和5年 5月12日 オンライン	55名 うち キャリアアップ 44名	研修① 「“保育の質”とは何か～一人ひとりの保育の向上のための「省察」～」 【B7-Ⅱ】	龍谷大学短期大学部こども教育学科 教授 畠山 寛
	第2回 キャリアアップ 分野2	令和5年 8月23日 オンライン	106名 うち キャリアアップ 96名	研修① 「幼児期の終わりまでに育てほしい姿と毎日の保育」 【F1-Ⅲ】 研修② 「幼保小連携の実際と課題―山形県の取り組みから―」 【F1-Ⅲ】	上越教育大学大学院学校教育研究科 発達支援教育実践研究コース（幼年教育領域） 教授 山口美和 東北文教大学短期大学部子ども学科長 教授 奥山優佳

研修会名	開催日・場所	参加人数	テーマ	講師名
キャリアアップ研修 【兼主任・中堅】	令和5年 6月20日 オンライン	70名 うち キャリアアップ 64名	研修 「子ども（乳幼児期）の食に 関する最近の傾向や課題～」 【A2-II】 【分野4】	郡山女子大学家政学部 食物栄養学科 教授 岡部 聡子
	令和5年 6月24日 福島テルサ	43名 うち キャリアアップ 42名	研修① 「より良い保育をめざすため の役割とは～主任・保育者の 視点から考える～」 【E2-III】 【分野2】 研修② 「こどもまんなかの社会をつ くるために～コロナ後の家庭 支援を考える～」 【F2-III】 【分野2】	幼少年教育研究所所員 元・富士見幼稚園主任 兵頭 恵子 桜の聖母短期大学生活科 学科 教授 狩野奈緒子
	令和5年 8月 2日 ホテル福島グリー ンパレス	35名 うち キャリアアップ 32名	研修① 「日々の生活の中で子ども達 は豊かに学ぶ～乳児保育とか かわりの質～」 【C2-III】 【分野1】 研修② 「こどもまんなかの社会をつ くるために～コロナ後の家庭 支援を考える～」 【E2-III】 【分野1】	福島大学名誉教授 大宮 勇雄 元・郡山女子大学短期大 学部 教授 三瓶 令子
	令和5年 9月 6日 オンライン	56名 うち キャリアアップ 53名	研修 「リーダーとして考える保育 とリスク」 【E2-III】 【分野1】	郡山女子大学短期大学部 講師・附属幼稚園園長 賀門 康博
	令和5年 9月13日 オンライン	76名 うち キャリアアップ 68名	研修 「乳児保育における環境を考 える～現状からの課題を踏ま えて～」 【C2-III】 【分野1】	福島学院大学短期大学部 保育学科 准教授 鈴木 智子
	令和5年11月22日 オンライン	81名 うち キャリアアップ 69名	研修 「発達障害のある子どもとそ の保護者への対応～多動の子 どものケースを中心に～」 【D3-II】 【分野1】	東京家政大学現代生活学 科児童学科 学科長 准教授 和田 美香

研修会名	開催日・場所	参加人数	内容	講師名
第11回教員研修大会(真中大会) 兼第37回東北地区私立幼稚園教員研修大会(福島大会)	令和5年10月20日 ～21日 郡山市 郡山女子大学、 郡山ビューホテルアネックス ほか	852名	①学びを繋げる地域連携の在り方 ～互恵性のある幼小連携へのアプローチ～【B2-II】 ②幼保小の架け橋になるカリキュラムの在り方【B2-II】 ③[ECEQ®]自園の保育を知り高める～ECEQ®を通じ子ども達にとって必要な愛着形成、子育て支援について考える～【B2-II】 ④[ECEQ®]ECEQ®を通じ自園の保育を知り、特色のある良質な保育のための園内研修を考える【B2-II】 ⑤乳児期から幼児期の保育環境を考える ～子どもの主体性を育む【B2-II】 ⑥存在感を高め互いに育ち合う保育をめざして【B2-II】 ⑦ワクワク園庭プロジェクトプロジェクト!～STEAMの視点を取り入れた記録の活用～【B2-II】 ⑧長時間保育の中で心身ともに健康でたくましく育つには～家庭・保護者との連携の在り方について～【B2-II】 ⑨保育を豊かにするICTの活用【B2-II】 ⑩経営分野研修【C3-III】 ⑪ポスター発表 研究協議【B5-II】 記念講演 「健やかな育みを求めて」	一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構副理事長・学校法人静岡豊田学園静岡豊田幼稚園園長 宮下 友美恵 学校法人加茂暁星学園新潟中央短期大学教授 久保田 真規子 学校法人愛光学園福島めばえ幼稚園副園長 伊藤 ちはる 学校法人尚志学園尚志幼稚園副園長 佐野 真紀子 学校法人啓明学園緑ヶ丘幼稚園園長 三塚 薫 学校法人昌平饗いわき短期大学附属幼稚園副園長 酒井 啓亮 福島学院大学短期大学部保育学科実習指導室長 准教授 鈴木 智子 一般社団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構専務理事・学校法人武蔵野東学園武蔵野東第一第二幼稚園園長 加藤 篤彦 学校法人郡山開成学園郡山女子大学短期大学部幼児教育学科准教授 柴田 卓 非営利団体コドモノミカタ 代表理事 井桁 容子 学校法人七松学園認定こども園七松幼稚園園長 亀山 秀郎 ①文部科学省大臣官房審議官 安彦 広斉 ②学校法人郡山開成学園郡山女子大学短期大学部幼児教育学科教授 折笠 国康 ③Eリソースセンター株式会社 代表取締役 石田 敦志 十文字学園女子大学教育人文学部幼児教育学科教授 上垣内 伸子 山梨大学 学長 中村 和彦